

准教授就任のご挨拶

— 長崎でがんばっています —

長崎大学大学院医学研究科整形外科学 准教授 富 田 雅 人 (5期生)



同窓会の先生方、大変ご無沙汰いたしております。平成3年卒業、5期生の富田雅人です。現在長崎大学整形外科で勤務いたしております。

今年(平成27年)4月1日に長崎大学整形外科の准教授を拝命いたしましたので、同窓会誌「南風」の紙面をお借りして同窓会の皆様へご報告、ご挨拶申し上げます。

琉球大学に通っていたとはいえ、一旦離れてしまうとやはり沖縄の地は遠く、学会等が無ければ沖縄へ行くことも有りません。卒業して24年程経ちましたがその間に沖縄へ5～6回しか行ってないと思います(昨年秋に沖縄で、同期の富村さん、砂川さん、名城君、仲本君、照屋君と飲みましたが、...)。

私は卒業後すぐに長崎大学整形外科に入局いたしました。その後、長崎大学病院、山口県立中央病院、国立嬉野病院を経て大学院に進学し、長崎大学病理学第1教室でお世話になり、老化研究をかじりました。その後、御縁あってアメリカのコネチカット大学内分泌学教室にpost-doctoral fellowとして留学いたしました。コネチカットでは、当時骨代謝の世界で“GOD”と呼ばれていたRaisz教授の下で研究させて頂きました。帰国後、長崎医療センター、北九州市立八幡病院、対馬いづはら病院で勤務した後に平成18年から長崎大学で勤務しております。長崎大学以外の大学を卒業した入局者ですが、出身大学を気にしないおおらかな教室、同門会の気質に助けられ、更に私の持って生まれた厚かましさと七光りを十二分に活用して長崎大学整形外科で大きな顔で生存

しております。臨床では骨・軟部腫瘍の診療を担当しており、同じく琉球大学同窓生(平成8年卒、10期生)の宮田倫明先生と2人でがんばっています。

『昨年開講60周年を迎えた伝統ある長崎大学整形外科学教室の准教授は私なんかには勤まらないでしょう』という気持ちですが、今まで諸先輩方からお受けした恩を今後少しでも後輩の先生達に還元したいと考えています。臨床研修制度の改訂、専門医制度の見直し等、近年の制度の変化はめまぐるしく、その変化に振り回されていますが、自分の出来ることをコツコツ(骨、骨?)がんばろうと思っております。

長崎県内に琉球大学医学科同窓生は案外多く、1期生の土屋知洋先生を中心に同窓会長崎支部会も数年前に設立されました。毎年同窓会が行われ学生時代にお世話になった齊藤名誉教授や栗原公太郎先生はじめ多くの先生方や同窓生と懐かしい話をして楽しい時間を過ごしています。長崎大学には、熱帯医学研究所の山城 哲先生(2期生)と感染分子解析学(旧細菌学)の西田教行先生(5期生)が教授として御活躍中です。更に数名の同窓生の先生が各診療科でご活躍されており、その姿が私の励みとなっております。

齢五十を越え、体力の衰えとくに視力の衰えを感じる今日この頃ですが、今しばらく診療、研究、教育に真面目に取り組む所存です。同窓会の先生方、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

